

令和2年度 第1回 奈良県たばこ対策推進委員会 議事要旨

日時：令和3年3月11日（木） 18：00～19：00

場所：WEB会議（WEBEX）

出席者：（委員）井川智恵子、大橋正和、高橋裕子、仲谷尚起、畑田道矢、二神洋二、
槇田郁男、水野文子、山田啓介、山田宏治

- 令和2年度たばこ対策の取組概要、受動喫煙防止対策にかかる取組について報告。改正健康増進法の全面施行後の保健所の対応等を委員と共有した。
- 令和3年度のたばこ対策の取組について確認。新型コロナウイルス感染症の動向をみながら、WEBでの研修会等を検討し、たばこ対策に向けた周知啓発について等、関係団体と協働して実施していく方向で了承された。

議題1 令和2年度たばこ対策の取組（実績）について

- 資料1、別紙1～4により説明（事務局）

（委員長）

今年度は、残念ながら禁煙支援アドバイザー研修会が中止となっている。禁煙支援協力薬局に登録いただいた際の禁煙相談に関する課題についてお聞きしたい。また、この制度に関して、相談にくる住民にとってプラスであると考えているが、御意見はないか。

（委員）

禁煙支援協力薬局では、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、相談件数は少なかった。禁煙支援アドバイザー研修会については、継続的に、薬局薬剤師に対しての研修会を行うことによって、少しずつ知識が深まっていくので、効果があると思っている。

最近は、地域の皆様から、電子たばこや加熱式たばこの質問が非常に多い印象がある。今後、その情報も研修会にもり込めたらと思う。

（委員長）

新しい情報等は随時出てくるので、新たな知識を学べる機会を設ける必要があると思っている。

改正健康増進法が今年度から全面施行となり、保健所では新型コロナウイルスの対応で大変であったと思うが、現場ではどうであったかをお聞きしたい。

（委員）

相談対応として、保健所管内では1年間通して105件となっている。違反对応は1件で、複数回に渡り対応を行っており相談に対して丁寧に対応ができていた。

保健所では、衛生課が主催している食品衛生責任者養成講習会で、担当者が改正健康増進法について、啓発・情報提供することに力を入れた。

（委員）

今年度、違反对応のべ件数が 30 件であり、電話での啓発や立入調査までで改善に至っており、勧告や公表にまで至ったケースはなかった。

(委員長)

新しいことが始まると同時にその周知・啓発に、ご尽力いただいたことを感謝申し上げます。今年度は、新型コロナウイルスの対応も大変な中、改正健康増進法の完全実施を進めていただく事ができた。

議題 2 令和 3 年度たばこ対策の取組について

○資料 2 により説明 (事務局)

(委員長)

令和 3 年度は、今年度たばこ対策を一生懸命進めてきた中で、令和 2 年度にどうしても進められなかったところをキャッチアップするような形でたばこ対策に取り組んでいただく予定。禁煙支援アドバイザー研修会については、ウェブ開催も検討いただければ良いと思う。

議題 3 第 3 期奈良県がん対策推進計画の進捗状況等について

○資料 3、参考 2 により説明 (事務局)

(委員長)

奈良県の喫煙率が、1.3 ポイント上昇してしまっているが、統計学的に検証した結果、有意差はないと説明をしていただいた。全国状況からも、この 1 年は新型コロナウイルスでステイホームになり、喫煙率が下がると思っていたが、会社にいる時よりも自由にたばこを吸うことができ、禁煙者が喫煙者に戻ってしまったといったことも聞いている。他の都道府県でも、喫煙率が下げ止まりであり、むしろ喫煙率が上がっているとも聞いている。

奈良県の取組が悪かったのではなく、奈良県は対策を講じてきたからこそ、この程度で済んでいる。対策を緩めると、さらに、喫煙率が上がってしまう。全国 1 位まで下がったと言って、手放しで喜ぶのではなく、これから私たちがますます頑張らなければいけないということを示している。

がん死亡率をみると、奈良県は非常に低下している。喫煙率が低下すると 10 年ほどで、がん死亡率が低下していくと言われている。奈良県は、2004 年頃から継続して喫煙率が低下しており、これは禁煙推進や子どもたちへの喫煙防止教材の配布など行政及び各関係者の皆様が頑張ってくださったからである。奈良県のがん死亡率の低下は喫煙だけが理由ではないと思うが、喫煙率の減少とがん死亡率に明らかな相関関係があると世界中で報告されている。逆に言うと、喫煙率が上がれば、がん死亡率が悪い状態になるという可能性が高いため、たばこ対策推進委員会で、たばこ対策に取り組んでいかなければいけないと感じている。